

## 各省における燃料電池実用化・普及への取組み状況

主な項目	現在までの対応状況（平成14年度の実施予定含む）
技術開発 （高効率化・高耐久性 ・低コスト化など）	<p>[ 経済産業省 ]・固体高分子形燃料電池 / 水素エネルギー利用技術開発戦略等に基づき、産学官の役割分担に則った技術開発を実施            &lt; 主要な予算 &gt; 固体高分子形燃料電池システム技術開発 (14年度予算 53億円)            水素エネルギー利用技術開発 (14年度予算 29億円)            燃料電池自動車等リチウム電池技術開発 (14年度予算 10億円)            天然ガス液化燃料化(GTL)技術研究等 (14年度予算 9億円)</p> <p>[ 国土交通省 ]・住宅用燃料電池の導入・実用化に関する調査研究 (14年度予算 2千万円)            ・エネルギー資源の自立循環型住宅技術の開発委員会による検討の一部として建築研究所の実験棟を利用した燃料電池の実証実験等            (14年度予算 7千万円)</p> <p>・水素貯蔵・供給技術開発の実施 [ 北海道大学市川教授による研究開発プロジェクト ]            (14年度予算 6千万円 (燃料電池活用型社会形成調査を含む。))</p>
実証試験・ 先進的モデル事業 （必要データの取得・ 普及啓発、 官民の率先導入）	<p><b>【燃料電池自動車】</b>            [ 経済産業省 ]・首都圏における水素供給ステーションの実証を含めた産学官による大規模公道走行実証試験を実施            &lt; 予算 &gt; 固体高分子形燃料電池システム実証等研究 (14年度予算 25億円 (燃料電池コージェネレーションシステム実証を含む。))</p> <p>[ 国土交通省 ]・公道走行試験のための大臣認定            ・「次世代低公害車開発促進事業」による安全・環境に関する実証試験の実施 (14年度予算 15億円)</p> <p><b>【定置用燃料電池】</b>            [ 経済産業省 ]・固体高分子形燃料電池コージェネレーションシステムの実証試験を実施            &lt; 予算 &gt; 固体高分子形燃料電池システム実証等研究 (14年度予算 25億円 (燃料電池自動車実証を含む。))            ・燃料電池を導入する地方公共団体、民間事業者に対する設置費用の一部助成 (13年度までの採択実績：りん酸形燃料電池)            &lt; 予算 &gt; 地域新エネルギー導入促進対策 採択実績 2台 (14年度予算 127億円)            新エネルギー事業者支援対策 採択実績 17台 (14年度予算 236億円)</p> <p>[ 国土交通省 ]・北海道における燃料電池活用型社会形成の調査を実施            [ 環境省 ]・廃棄物を活用した生ごみバイオガス化燃料電池（りん酸形）発電施設の実証事業            ・生ごみのメタン発酵による燃料電池等を設置する地方公共団体に対する設置費用の一部助成            ・グリーン購入法による特定調達品目として、燃料電池を指定</p>
普及啓発 （社会的受容性の向上）	<p>[ 経済産業省 ]・2001年11月 JEVA 電気自動車フォーラム（日米欧政府による燃料電池自動車の開発状況のパネルディスカッション等）を実施            ・2001年12月 小泉総理等による燃料電池自動車試乗会の開催</p> <p>[ 国土交通省 ]・2002年3月 燃料電池自動車国際シンポジウムを実施</p> <p>[ 環境省 ]・2001年6月 低公害車フェア（燃料電池自動車も展示）を実施（2002年も6月に開催予定）</p>
ソフトインフラの整備 （基準・標準の整備、 国際標準化の推進、 規制の適切な見直し）	<p>[ 経済産業省 ]・ミレニアムプロジェクト（固体高分子形燃料電池システム普及基盤整備事業）の実施            （燃料電池自動車及び定置用燃料電池について安全性・信頼性等の試験評価手法確立、国際標準化、安全性を確保した上で各種規制見直し）            (14年度予算 31億円)</p> <p>[ 国土交通省 ]・「燃料電池自動車技術評価検討会」による安全・環境に関する評価手法の検討            「次世代低公害車開発促進事業」による安全・環境に関する実証試験の実施 [ 再掲 ] (14年度予算 15億円)</p>